

# 総合教育センターだより

NO. 103

平成23年12月発行

山梨県総合教育センター

## 平成23年度 第2回特別研修会

### 「力のある学校」をつくる

#### ～学力問題と学校づくり～

大阪大学大学院人間科学研究科教授 志水宏吉 先生

秋も深まり冬の足音が聞こえ始めた11月18日(金)に、第2回目の特別研修会を開催しました。当日は県内各地から約280名の先生方に参加していただき、実りある研修会になりました。

本年度、総合教育センターでは「学校教育を支援する確かな情報発信源」を目指し、特別研修会を企画しました。今回は大阪大学大学院人間科学研究科教授の志水宏吉先生を講師にお招きし、「『力のある学校』をつくる—学力問題と学校づくり—」と題して講演をお願いし、学力向上に資する学校づくりについて学びを深めました。講演の前半で志水先生は学力問題を取り上げ、学力の2極化の構図を分析、問題の背景としては学力と家庭環境の相関が非常に強まっているという研究成果を明らかにされました。その上で、家庭における経済的、物質的な豊かさと子どもの学力とは関係性が薄く、むしろ親や子が学校・地域において良好な人間関係を構築していることが学力の下支えになり、学力低下を防ぐことができることを示されました。また、後半では、志水先生が欧米の効果のある学校論から導き出した「力のある学校」について「スクールバス」をモデルに話をいただきました。気持ちのそろった教職員集団のエンジンと学校運営のハンドルさばきを中心とし、生徒指導と学習指導はバスを導く前輪、校種間連携と家庭連携は運転を安定させる後輪、学校環境・学校文化はインテリアとボディとして位置付け、すべての要素がかみ合うことで、積極的かつ効果的な教育活動は実践され、「力のある学校」を実現することができるという理論は極めて示唆に富むものでした。

講演の最後には参加された先生方から積極的な質問が出されました。その中で志水先生は「どうすれば学習習慣の形成に効果があるか」という質問について、家庭環境に関係なく学校で教職員が徹底して根気強く指導することによって、子どもたちに学習習慣を獲得させることができることを実践例を踏まえて紹介されました。また、「学力格差の是正はどの程度可能か」という質問に対しては、所謂学力格差は子どもの個人差の問題とは同一視すべきではない。むしろ集団間の平均値の比較に目を奪われることなく、ある基準の通過率に着目し、全ての子どもたちに必要な学力を身に付けさせることができたかということが第一であり、格差そのものを必要以上に重要視し、是正することは必ずしも重要ではないと強調されました。

参加された先生方からは、「教員間で協働して子どもの学習環境を整えていく必要性を感じた」、「職員一人一人が学校づくりの視野をもつことで、一步踏み出せると思った」、「勤務校の抱える問題の根っこが見えた」といった声が多数寄せられました。今回の研修会は多くの先生方にとって、日頃の教育活動において勇気をもてる示唆を与えていただき、大変有意義な機会になったと思います。参加された先生方の今後の御活躍を期待しています。



# 第8回押し葉標本作品展

## 最優秀賞

### 小学校の部



作品名 ヤブレガサ  
山梨市立日川小学校 5年  
保坂 有輝

### 中学校の部



作品名 ヨツバヒヨドリ  
甲州市立勝沼中学校 2年  
川崎 若菜

### 高等学校の部



作品名 キツリフネ  
山梨県立山梨高等学校 1年  
川崎 小百合

## 優秀賞

### 教育長賞



作品名 オノゲシ  
山梨市立日川小学校 5年  
阿部 颯馬

### 笛吹市長賞



作品名 ハエドクソウ  
山梨市立日川小学校 5年  
中澤 康静

### コカ・コーラ賞



作品名 オオバノイノモトソウ  
山梨市立日川小学校 5年  
望月 彩花

### 田丸賞



作品名 ツバキ  
甲州市立奥野田小学校 5年  
甘利 佑弥

小学校の部

### 教育長賞



作品名 キュウリグサ  
甲府市立南西中学校 3年  
吉澤 崇史

### 笛吹市長賞



作品名 キンミズヒキ  
甲州市立勝沼中学校 2年  
網野 希世

### コカ・コーラ賞



作品名 クサノオウ  
山梨市立山梨南中学校 1年  
岩間 優香

### 田丸賞



作品名 ヨウシュヤマゴボウ  
山梨市立山梨北中学校 1年  
宮地 愛

中学校の部



教育長賞

笛吹市長賞

コカ・コーラ賞

田丸賞

高等学校の部



作品名 ヘクソカズラ  
山梨県立日川高等学校 1年  
三枝 礼実



作品名 カヤツリグサ  
山梨県立日川高等学校 1年  
萩原 彩花



作品名 ハキダメギク  
山梨県立盲学校 3年  
渡邊 侑華



作品名 ヨウシュヤマゴボウ  
山梨県立日川高等学校 1年  
宮地 伸

審査員特別賞



作品名 カヤツリグサ  
甲斐市立双葉東小学校2年  
白倉 英奈

学校賞

- 山梨市立日川小学校
- 山梨学院大学附属中学校
- 山梨県立日川高等学校



作品作りで苦勞したことなどを発表しました



表彰式の様子



県下の学校から950点の作品を応募いただきました。ありがとうございました。

～入賞作品作品展示～

最優秀賞，優秀賞，審査員特別賞

\*平成23年12月7日(水)

～平成24年1月20日(金)

山梨県立博物館ロビー

# 平成23年度研究発表大会のお知らせ

- 1 日 時 平成24年2月23日(木) 9:25~16:10 (受付9:00~)
- 2 会 場 山梨県総合教育センター 大研修室 他
- 3 内 容 (詳細につきましては、正式案内をお待ちください。)
  - 【講 演】 都留文科大学副学長の福田誠治先生より御講演をいただきます。
  - 【基調提案】 総合教育センターにおける本年度の研究の概要について発表します。

## 研究発表 5会場(大研修室・情報研修室・第3研修室・第4研修室・第5研修室)同時進行で主事研究等の成果を発表します。

### ○主事研究

- ・教科・領域グループ・・・7発表
  - 国語教育(小学校)
  - 理数教育(高等学校数学・高等学校生物)
  - 実技系教科教育(中学校音楽・中学校技術家庭)
  - 道徳教育(小学校・高等学校)
- ・教育相談グループ・・・1発表
  - 不登校問題の理解と対応
- ・特別支援教育グループ・・・1発表
  - 特別支援学級における自立活動
- ・情報教育グループ・・・4発表
  - 情報モラル教育(中学校・高等学校)
  - 電子黒板の活用(小学校)
  - 県域サポート体制の構築

### ○教育課程実施状況調査・・・3発表

- 社会(小6・中3)
- 理科(小6・中3)
- 英語(中3)

### ○一般留学生研究・・・2発表

- 社会(小学校)
- 数学(中学校)

### ○こすもす教室・・・1発表

- 不登校への支援

\*正式案内及び参加申込み方法等については、後日(1月中)各学校宛に案内します。

### メールマガジン登録と発行のお知らせ

こんなことを配信します

- ★総合教育センターや県教育委員会からの最新情報
- ★県内外の公開研究発表会や教育に関する催しの情報
- ★新着図書・資料の案内
- ★学校現場で役立つ工夫などを連載

＜ご利用規定＞登録制により(kai.ed.jpに限る)無料でご利用できます。

山梨県総合教育センターホームページより、登録できます



### プラムメール登録方法

ハイユースネット・インターネット要項の「様式2」(電子メール使用権申請書)に必要事項を記入して、県総合教育センターへ送付してください。IDが決まり次第、ご本人に直接通知します。

### 山梨県総合教育センター メールマガジンの登録・解除・バックナンバー閲覧

こんなことを配信します

- 総合教育センターや県教育委員会からの最新情報
- 県内外の公開研究発表会や教育に関する催しの情報
- 新着図書・資料の案内
- 学校現場で役立つ工夫などを連載

ご利用規定

1. 登録制により(kai.ed.jpに限る)無料でご利用できます。
2. ウィルス防止のため添付ファイルを送信することはできません。
3. 登録や解除は利用者に自分で行ってください。

登録・解除・バックナンバー閲覧へ

こちらよりご登録ください

編集発行 山梨県総合教育センター  
 山梨県笛吹市御坂町成田 1456  
 電話 055-262-5571(代)  
 Fax 055-262-5572  
 発行責任者 所長 清水 澄  
 発行日 平成23年12月16日

